

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和6年4月26日（金曜日）
10時00分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 議事（公開）

付第1号議案

佐賀県立学校の課程等に関する規則の一部を改正する規則（案）について

（教育振興課）

4 事務局報告（公開）

（1）令和6年度全国高等学校総合体育大会（SAGAインターハイ）の準備状況について

（全国高校総体2024推進チーム）

（2）令和6年度在外教育施設派遣等教員新規派遣について

（教職員課）

（3）令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験について

（教職員課）

（4）令和6年度佐賀県立高等学校・県立中学校入学者数について

（学校教育課）

（5）令和7年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施日程について

（学校教育課）

（6）令和7年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜実施日程について

（学校教育課）

（7）令和7年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜インターネット出願について

（学校教育課）

(8) 令和5年度全国高等学校選抜大会等上位入賞者について

(保健体育課)

(9) 次回定例教育委員会について

令和6年5月23日(木) 14時00分～

(教育総務課)

5 議事 (非公開)

付第2号議案

いじめ問題対策委員会からの答申を踏まえた教育委員会の対応について

(生徒支援室)

6 事務局報告 (非公開)

(1) 令和6年度佐賀県教科用図書選定審議会の委員及び諮問内容について

(学校教育課)

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和6年3月27日（水曜日）
2 場 所 教育委員会室
3 参集者 甲斐教育長、牟田委員、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、井上副教育長、嘉村副教育長、大橋危機管理・広報総括監、松尾総体2024総括監、内田教育総務課長、岡教職員課長、池田生徒支援室長、江口保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

（1）開 会 14時00分

（2）前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

（3）教育長報告

佐賀県教育委員会議決事項等に関する規則第2条第3項に基づく教育長の臨時代理について、私から2件報告させていただく。1件目は、3月19日に「佐賀県いじめ問題対策委員会」へ諮問を行った件である。県立学校におけるいじめの重大事態案件に係るものである。本来は、教育委員会に付したのちに諮問すべきものであるが、急ぎいじめ問題対策委員会へ諮問し、審議いただきたいと考え、臨時代理により専決した。

2件目は、定年引上げに伴う職の追加等関係規程の改正を行った件である。定年引上げに伴う新たな職の追加、事務取扱の見直しなどを行うものである。4月1日付け人事異動では定年引上げに伴う新たな職も含むことから、公表前に臨時代理により専決した。

以上2件について、佐賀県教育委員会議決事項等に関する規則第2条第4項の規定により、ご承認いただきたい。

（4）議事

【付第49号議案】

佐賀県教育委員会表彰規則の一部改正について

このことについて、議案書により内田教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（内田教育総務課長）

佐賀県教育委員会表彰規則の一部改正について審議をお願いするものである。資料49-2をご覧ください。教育の振興の功績が特に顕著なもの等に対して県教育委

員会が行う表彰の方法等を定める規則である。知事部局にも表彰規則があり、知事部局の改正の内容を踏まえ、今回欠格要件を定めるものである。これまでは内規で欠格事由を定めていたが、各市町に刑罰等調書を求めており、履歴があるか公的に照会をして回答をもらうことができるが、個人情報もあるため内規ではなく規則で定めていないと出せないという事例が出てきており、運用が厳格化されていることから、欠格事由を規則で定めるものである。施行日は公布の日からである。資料 49-3 は新旧対照表である。以上、ご審議をお願いしたい。

【付第 51 号議案】

佐賀県教育委員会事務局及び公立学校その他の教育機関に勤務する会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則（案）について

このことについて、議案書により岡教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(岡教職員課長)

資料 51-2 をご覧いただきたい。令和 6 年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給するため、11 月議会において佐賀県会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部が改正されている。これに伴い、県教育委員会事務局や公立学校等に勤務する会計年度任用職員の報酬等に関し必要な事項を定める本規則において勤勉手当等に係る在職期間について新たに規定するものである。施行は令和 6 年 4 月 1 日である。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛（裕）委員)

新たに支給を始めることになるのか。

(岡教職員課長)

期末手当はあったが、勤勉手当は新たに支給することになる。

(飯盛（清）委員)

国からの指示があつてということであれば、県も市町もとなると思うが、どうなるのか。

(岡教職員課長)

市町立の職員も、県立の職員も同様になる。対象者の所属は、教育委員会事務局と県立学校の非常勤職員がほとんどであり、市町立の小中学校にはほぼいない。期間が 6 ヶ月以上任用されている方かつ月 67 時間以上の条件を満たす方に勤勉手当を支給するものである。市町立小中学校で月 67 時間以上勤務している非常勤講師はわずかであることから、ほとんどは県立学校に所属する会計年度任用職員に対する支給となる。県立学校には非常勤講師を含め会計年度任用職員が多くいる。

(加藤委員)

県教育委員会独自のものなのか。

(岡教職員課長)

知事部局の改正にならない、教育委員会事務局も改正するものである。

(甲斐教育長)

地方公務員法の改正の改正によるものである。

(井上副教育長)

元々は、同一労働同一賃金の考えから、正職員が期末勤勉手当をもらい、会計年度任用職員は期末手当だけということが制度的におかしいということで勤勉手当を設けるという流れが国で示され、地方公務員、教職員もという流れである。

(飯盛(裕)委員)

全国的に賃上げが言われている中で、会計年度任用職員の賃金も上がっているのか。

(岡教職員課長)

非常勤講師については5年ほど報酬が据え置かれている。会計年度任用職員の事務職員については、給料表どおり年々上がっている。

【付第 52 号議案】

教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則(案)について

このことについて、議案書により岡教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(岡教職員課長)

資料 52-2 をご覧いただきたい。文部科学省において教育職員免許状施行規則が改正され、中学校教諭・高校教諭免許状授与に係る科目区分の見直し及び特別支援学校教諭免許状授与に係る科目の内容が変更された。それに伴い、教育職員の免許状に関する規則に記載がある免許取得に係る科目区分と内容について改正を行うものである。施行は令和6年4月1日である。以上、ご審議をお願いしたい。

【付第 53 号議案】

市町立学校学級編制基準(案)について

このことについて、議案書により岡教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(岡教職員課長)

資料 53-2 をご覧いただきたい。公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第3条第2項に規定されているとおり、都道府県の教育委員会が義務標準法で定められている学級編制の標準を基に定めるようになっている。

今回の変更点は、小学校の1学級の児童数の部分である。これまでは、小学校第1学年～5学年までが35人、第6学年は40人を基準としていたが、第6学年を35人に引き下げ、第1学年～第6学年まで小学校すべての学年を35人とする。義務標準法に

については、令和3年4月1日に一部を改正する規則が施行され、小学校の学級編制の標準が令和7年度までに段階的に35人に引き下げることとなっている。令和6年度は、国の基準では、第5学年までの標準が35人となるが、佐賀県では、令和6年度から小学校第6学年において、1学級あたりの児童数が35人を超える対象校に対して独自に教員を加配して、35人学級を実現していくこととしている。国の標準よりも先駆け、1年早く35人学級とするものである。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

小学校はやっとここまで来た。このあと中学校での希望も出ているのではないかと思うが、見通しとしてはどうか。

(岡教職員課長)

引き続き、第5学年まできている国の標準に対して要望を出しているところであるが、国の動向を判断しながら検討していきたい。

(飯盛(清)委員)

国が中学校まで上げていくかは、まだ見えないのか。

(岡教職員課長)

そうである。

【付第54号議案】

SAGAスクール・ミッションについて

このことについて、議案書により笹谷教育振興課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(笹谷教育振興課長)

資料54-2をご覧ください。SAGAスクール・ミッションの策定についてである。令和3年3月31日付で学校教育法施行規則等の一部を改正する省令が交付され、高等学校は、高等学校学習指導要領に定めるところにより3つの方針、いわゆるスクールポリシーを定め、公表することとされている。また、設置者(県)は、その設置する高等学校が3つの方針を策定する前提として、各高等学校やその立地する市区町村等と連携しつつ、各高等学校に期待される社会的役割等いわゆるスクールミッションを再定義することが望ましいとされている。今回、改正奨励及び通知を受けて、佐賀教育委員会としてスクールミッション(SAGAスクール・ミッション)を策定し、各県立高等学校に提示しようとするものである。

スクール・ミッションは、設置者が各学校の存在意義、期待される社会的役割、目指すべき学校像を示すものである。これを受け、各高等学校が策定・公表するスクール・ポリシーが高等学校教育の入り口から出口までの教育活動を体系化して策定・公表するものである。

資料54-3をご覧ください。SAGAスクール・ミッションについてである。

(1) 策定の方針について、今回の改正省令及び通知を踏まえ、佐賀県教育委員会として、SAGAスクール・ミッションを策定し、各高等学校に提示することと考えている。

資料54-4～8をご覧いただきたい。県立高校32校のスクール・ミッション(案)である。ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(加藤委員)

これは、県教育委員会で決めて、各高等学校に下ろすものということだが、各高校の思いが乗らないと進まないと思うが、各高校とどう話されているのか。

(笹谷教育振興課長)

そのとおりである。

(加藤委員)

県教育委員会で決めて、各高等学校に下ろすものということだが、各高校の確固とした思いが入っていないといけないと思うが、各高校とどのように話されているのか。

(笹谷教育振興課長)

SAGAスクール・ミッションについては、各高校と密に連絡を取り合いながら、この表現で良いか確認したり、学校からは表現の追加をしてもらえないかと依頼があったり、校長など管理職と話しながら策定をしている。また、各高校は立地する市区町村と連携しながらになるため、いろいろな意見を取り入れながら、SAGAスクール・ミッションについての意見をまとめてもらっている。今回の付議の前にも、校長へ確認の連絡をしている。

(加藤委員)

大事なのは現場で働く教職員の思いがそこないと実現も難しいと思うので、思いを大事にしながら取り組んでほしい。

(飯盛(清)委員)

各高校にはこれまで学校教育目標があり、歴史の長い学校はずっと変わっていない学校も一部あると思う。今回これを機に、整理をし直した形であり、新たに一から考えたという学校はないような印象を持ったが、合っているか。

(笹谷教育振興課長)

今まであった学校目標をもとに原案を作成してもらったり、こちらから作成し提案をしたりもある。あくまでも県から出すミッションであり、このあと学校でより具現化した学校目標を設定され、さらにそれを実施するためのポリシー策定・公表に移っていくと思う。

(牟田委員)

ミッションだから抽象的にならざるを得ないと思うが、もっと具体的にしないでいいのか。

(笹谷教育振興課長)

このあと学校がより独自性を出していく。

(飯盛(裕)委員)

数年前からやっている唯一無二の学校づくりにするためのミッションという
とか。

(笹谷教育振興課長)

そうである。

(荒木委員)

ミッションを今回の教育委員会で決めて、ポリシーを来月というスケジュール
がタイトだと思うが、時間的に大丈夫か。もう動き始めているのか。

(笹谷教育振興課長)

ミッションの策定については秋ぐらいから学校と連絡を取り、大枠のところは
各学校に提示している。すでに学校はポリシー策定の準備は進めているところ
である。正式な通知を受けて、最終的な確定をされることになる。

(荒木委員)

ポリシーもこの教育委員会で付議されるのか。

(笹谷教育振興課長)

ポリシーは提出してもらう形であり、あくまでも各学校が策定するものである。

(牟田委員)

前から言っている各学校の特色を出すものの一環なのか。

(笹谷教育振興課長)

その大前提になるものである。

(5) 事務局報告

- ① 原岡学校教育課長は、令和6年度佐賀県立中学校入学者選抜実施状況について、資料に基づき次のとおり報告した。

(原岡学校教育課長)

資料1-1をご覧いただきたい。4中学校の募集定員はそれぞれ120名であり、計480名で入学者選抜を行った。志願者数は4校合わせて計1,096名であった。県内外の内訳は、県内1,071名、県外25名であった。1月13日に実施した本検査を受検者は1,077名、欠席者が19名いた。19名のうち、9名が1月20日の追検査を受検された。インフルエンザやその他感染症等により欠席せざるを得なかった受験生が追検査を受検した。総受検者が1,086名で、全体の志願倍率は2.26倍であった。合格者は定員どおり480名である。ただ、合格者480名を出しているが、香楠中で2名、致遠館中で12名、唐津東中で3名、武雄青陵中で7名の辞退者が出ている。辞退があった分は、追加合格の候補者の中から繰り上げて合格させ、辞退者分をすべて補充することができ、現時点で入学予定者数はそれぞれ120名ずつとなっている。新たな辞退等はないため、このまま入学者数が確定すると思っ

いるが、来月の入学式をもって入学者数の確定をする。改めてプレスリリースを行う予定である。

【主な質問等】

(飯盛(裕)委員)

致遠館中で辞退者が多かった理由は。

(原岡学校教育課長)

致遠館中が特に多かった理由は分かりづらいところがあるが、例年辞退する方は、県内外の私立中学校に合格した、または県立中を受検したが地元の中学校に通いたいと進路変更をする場合などがある。

(飯盛(裕)委員)

附属中と県立中の試験日は同じか。

(原岡学校教育課長)

附属中を選ぶから県立中を辞退するということはない

(飯盛(裕)委員)

県立中学校に合格できる成績の子たちが私立中学校を受検すると、学力奨学生という授業料が免除になる制度があり、校風などで私立中学校を選ぶ例を数件知っている。

(加藤委員)

辞退数 24 名に対し、補充数も 24 名で、定員 480 名になっているが、成績が少し低くても順番にあげていくのか。

(原岡学校教育課長)

確かに追加合格の候補者の中にも、ぎりぎりで不合格の子、少し点差があるが候補者になった子もいて、学力の差はあるかもしれない。ただ、県立中の入学者選抜では学力ではなく適性検査を行っており、正確に学力がどうかを測りかねる部分はあるかもしれない。

(加藤委員)

学力以外に適性検査があるということか。

(原岡学校教育課長)

学力そのものは測っておらず、適性検査と調査書、面接で選抜を行っている。

② 江口保健体育課長は、第 78 回国民スポーツ大会冬季大会について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口保健体育課長)

資料 2-1 をご覧いただきたい。令和 6 年 2 月 21 日～24 日まで山形県最上町の赤倉温泉スキー場において開催された大会では、スキー競技に、少年男子に敬徳高校の古賀選手、佐賀西高校の稲増選手、少年女子に致遠館高校の江上選手が出場した。順位・タイムについては表のとおりである。来年度は群馬県を中心に冬季大会

が開催される。

⑦ 内田教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(内田教育総務課長)

次回定例教育委員会は、4月26日(金曜日)10時00分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

(6) 議事

教育長は非公開を宣言した。

【付第55号議案】

教職員の人事について

このことについて、議案書により岡教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(7) 事務局報告

① 岡教職員課長は、令和6年度スーパーティーチャーズの認証について、資料に基づき報告した。

② 岡教職員課長は、教職員人事異動の概要について、資料に基づき報告した。

③ 内田教育総務課長は、令和6年2月定例県議会における主な質問事項について、資料に基づき報告した。

(6) 閉会 15時03分

令和6年4月定例教育委員会資料

(令和6年4月26日)

議 事 【公 開】

佐賀県教育委員会

付第1号議案

佐賀県立学校の課程等に関する規則の一部を改正する
規則（案）について

このことについて、別紙のとおり定める。

佐賀県立学校の課程等に関する規則の一部を改正する規則（案）の概要

教育委員会 教育振興課

改正の理由・内容

- 1 県立高等学校の課程、学科、コース等に関して必要な事項を定める本規則において、伊万里高校スクール・ミッションを踏まえ、同校に文理融合的な教養を学び、現代社会が直面する課題に学問の視点からアプローチするための基礎的な素養を養う「MIRAI進学科」を設置するもの

- 2 施行期日 令和7年4月1日

佐賀県教育委員会規則第 号

佐賀県立学校の課程等に関する規則の一部を改正する規則（案）

佐賀県立学校の課程等に関する規則（昭和39年佐賀県教育委員会規則第9号）の一部を次のように改正する。
次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正前				改正後			
別表第1（第2条関係）				別表第1（第2条関係）			
学校	課程	学科	昼夜間の別	学校	課程	学科	昼夜間の別
略				略			
佐賀県立伊万里高等学校	全日制課程	普通科	昼間	佐賀県立伊万里高等学校	全日制課程	普通科、 <u>MIRAI進学科</u>	昼間
略				略			

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

県立高等学校の学科改編について

1 目的

県立高校普通科において、社会のニーズや生徒の興味・関心を踏まえ、学科等の見直しに取り組むことにより、唯一無二の誇り高い学校づくりを推進し、県内外からの志願者の増加を図るとともに、地域社会に有為な人材を育成・輩出するため。

2 学科改編の概要

- (1) 対象校 伊万里高校
 (2) 実施年度 令和7年度（2025年度）～
 (3) 改編内容

学校名	改編前	改編後
	学科名	学科
伊万里高校	普通科	普通科 MIRAI進学科

※1年次は共通のカリキュラムにより授業実施。2年次から学科毎に分ける。

(4) 主な狙い

- ・自ら学びを深め継続していくことにより、地域未来の発展に貢献できる生徒を育成する。
- ・より高い志を持たせるとともに、文理融合的な幅広い教養とスキルを身に付けさせる。

※令和7年度（2025年度）の佐賀県立高等学校の募集定員については、今年7月の定例教育委員会で決定する予定です。

令和6年4月定例教育委員会資料

(令和6年4月26日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

令和6年度全国高等学校総合体育大会（SAGAインターハイ）の
準備状況について

1 令和6年度全国高等学校総合体育大会佐賀県実行委員会

令和6年度事業計画

（令和6年3月27日 実行委員会総会で承認）

部 門 名	項 目	内 容
総 務	県実行委員会の開催	・事業報告
	関係機関との連絡調整	・開催都道府県連絡会議での連絡調整（福岡県） ・全国高体連、ナショナルスポンサーとの連絡調整
	高校生生活動	・高校生生活動推進委員会に対する支援及び活動費の助成 〔高校生生活動推進委員会による大会PR、歓迎活動〕 〔競技会場を飾る草花の栽培〕
広報・報道	広報活動	・直前イベントの実施 ・大会ハンドブックの作成、HP掲載（佐賀県） ・服飾の作製・配布 ・駅、空港、大会会場等での歓迎装飾 ・テレビ、ラジオ、新聞、市町広報紙等での広告 ・SAGA2024との連携（学校訪問2024、SAGAインターハイ会場での国スポ・全障スポのPRに協力）
	参加章の作製	・作製（長崎県）及び配布
	入賞メダルの作製	・作製（大分県）及び授与
	報道関係機関との連絡調整	・報道協議会の開催（福岡県）、参加 ・開催道県の共同による「報道ハンドブック」の作成
	大会報告書作成	・開催道県の共同による作成及び佐賀県版の作成
競 技	開催競技専門部との連絡調整	・開催競技小委員会の開催 ・関係競技団体との連絡調整
	役員・補助員等養成事業	・大会を円滑に運営するための養成事業を実施
	役員・補助員編成	・3次編成、最終編成を実施
	競技種目別大会の開催	・佐賀県開催競技種目別大会運営に係る準備、開催、事後処理を実施
宿泊・衛生	全国高体連専門部との連絡調整	・競技種目別大会準備において、全国高体連専門部と連絡調整のため、県高体連専門部を派遣
	配宿業務の実施 （配宿センター・JTB）	・配宿申込開始（6月）、配宿決定、決定通知
	宿泊衛生業務等講習の実施	・宿泊施設、弁当調製施設向けオンデマンド講習（宿泊編・衛生編・医療編） ・「受け入れの手引き」冊子の作成・配付
交通・防災	関係機関との連絡、調整	・医療関係機関訪問、協力依頼 ・救護所への派遣医師等との調整 ・弁当調製施設との調整
	関係機関との連絡、調整	・交通関係機関との調整 ・消防関係機関訪問、協力依頼
	緊急時対応策	・緊急時対応の手引きの更新

2 令和6年度全国高等学校総合体育大会佐賀県実行委員会

令和6年度収支予算

(令和6年3月27日 実行委員会総会で承認)

収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算 額	摘 要	
1 負担金	410,371	県	405,078
		全国高体連負担金	5,293
2 大会参加料	31,653	団体	13,365
		個人	17,208
		組	1,080
3 プログラム販売	5,340	プログラム販売	5,340
4 協賛金	14,814	企業協賛金（全国高体連配分）	13,314
		企業協賛金（佐賀県独自協賛企業分）	1,500
5 繰越金	4,347	令和5年度事業費繰越金（見込）	4,347
6 雑収入	3,554	売店出店料	3,553
		利息	1
合 計	470,079		

支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算 額	摘 要	
1 総務費	10,105	(1) 事務局運営費	
		・ 事務用消耗品等	989
		(2) 総会等開催費	
		・ 委員旅費、会場借上料等	296
		(3) 関係機関等連絡調整費	
・ 関係者旅費等	66		
(4) 高校生活動推進委員会事業費補助金		・ 消耗品費、各種活動費等	8,478
		(5) 大会事後処理費	
・ 感謝状等	276		
2 委員会費	459,974	(1) 広報報道費	
		・ 広告費、イベント開催費等	51,541
		(2) 競技費	
・ 大会運営費等	407,397		
(3) 宿泊・交通対策費		・ 保健医療対応物品借用料等	1,036
		合 計	470,079

3 競技種目別大会ポスターについて

(1) ポスター図案の募集及び応募状況

募集期間 令和5年5月19日～8月31日

応募校数 15校 (応募作品数 233作品)

(2) 選考結果

<最優秀賞>

(学年は受賞時(令和5年度))

競技種目	学校名	学年	受賞者
水泳(競泳)	唐津東高等学校	2年	川添 眞実
バドミントン	佐賀女子高等学校	3年	伊藤 環
レスリング	嬉野高等学校	1年	宮崎 翔和
ボクシング	嬉野高等学校	1年	赤木 琥太郎
フェンシング	有田工業高等学校	3年	原田 陽花
少林寺拳法	佐賀女子高等学校	2年	真崎 結那

<学校特別賞>

学校名

嬉野高等学校

(応募作品数 105 作品)

受賞作品数 4 作品 (最優秀賞 2 優秀賞 2)

(3) 図案を基にしたポスター



令和6年度 在外教育施設派遣等教員新規派遣について

学校名	職名	派遣者氏名	年齢	派遣期間	派遣先
唐津市立北波多小学校	教諭	山田 萌子	29	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	ニューデリー日本人学校 (インド)
佐賀市立東与賀中学校	教諭	横尾 恵	46	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	ソウル日本人学校 (大韓民国)

以上 2名 (年齢:R6. 4. 1現在)

令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験を実施します

令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験(令和6年度実施)を、別添実施要項により実施します。実施要項を佐賀県教育委員会のホームページに公表するとともに、令和6年4月1日(月曜日)から配布します。

記

1 令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の試験期日・会場

ア 第一次試験

期日 令和6年6月16日(日曜日)

会場 県立佐賀西高等学校、県立佐賀北高等学校

イ 第二次試験

期日 令和6年7月27日(土曜日)～30日(火曜日)

会場 県立致遠館高等学校、県立佐賀商業高等学校

ウ スポーツ・芸術特別選考の期日及び会場は、志願者のうち、書類選考通過者に別途通知します。

エ さがUJI ターン現職特別選考の試験期日及び会場については、実施要項で確認してください。

※ 令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験・秋選考については、ホームページで概要版のみ公表します。実施要項公表は、8月の予定です。

2 令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の概要

(1) 採用予定者数及び試験実施教科

試験区分		試験実施教科(科目)及び教科別採用予定者数						
小学校教諭等		—					170名程度 (前年度 180 名程度)	
中学校教諭等		国語	20 名程度	音楽	4 名程度		110名程度 (前年度 105 名程度)	
		社会	15 名程度	美術	3 名程度			
		数学	16 名程度	保健体育	10 名程度			
		理科	14 名程度	技術	3 名程度			
		英語	20 名程度	家庭	5 名程度			
高等学校教諭等		国語	3 名程度	芸術	音楽	1 名程度	37名程度 (前年度 34 名程度)	
		地理歴史	日本史		1 名程度	美術		1 名程度
			世界史	1 名程度	家庭	2 名程度		
			地理	2 名程度	農業	農業		2 名程度
		数学	4 名程度	情報	1 名程度			
		理科	物理	1 名程度	工業	機械		3 名程度
			化学	1 名程度		電気		3 名程度
			生物	2 名程度		建築		1 名程度
		英語	3 名程度	土木		1 名程度		
		保健体育	2 名程度	商業	2 名程度			
特別支援学校教諭等	小学部	—					36 名程度 (前年度 36 名程度)	
	中学部	教科は問わない						
	高等部	教科(科目)は問わない						
養護教諭等		—					9名程度 (前年度 10 名程度)	

※ 特別支援学校教諭等は、教科(科目)を問わず出願できます。

(2) 選考試験実施要項等の配布

ア 配布期間

令和6年4月1日(月曜日)～4月30日(火曜日)

イ 配布場所

佐賀県教育委員会事務局教職員課	佐賀市城内1-1-59 県庁旧館2F (TEL0952-25-7212)
行政の窓口	佐賀市城内1-1-59 県庁新館1F (TEL0952-25-7010)
東部教育事務所	佐賀市八丁畷町8-1 総合庁舎4F (TEL0952-30-7218)
西部教育事務所	武雄市武雄町昭和265 総合庁舎2F (TEL0954-23-3125)
西部教育事務所北部支所	唐津市二夕子3-1-5 総合庁舎1F (TEL0955-73-1331)
佐賀県首都圏事務所	千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11F (TEL03-5212-9073)
佐賀県関西・中京事務所	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9F (TEL06-6344-8031)

- ※ 土曜日、日曜日の配布は、行政の窓口のみで行います。
- ※ 各大学の事務室等にも送付しておりますので、御確認ください。
- ※ 郵便で請求する場合は、宛先を明記し、140円切手を貼った角2封筒を同封してください。
- ※ 請求先 〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
佐賀県教育委員会事務局 教職員課
小中学校人事担当又は県立学校人事担当

ウ その他

スポーツ・芸術特別選考の選考試験実施要項及び申込書等の配布については、次のとおりです。

【配布期間】 令和6年4月10日(水曜日)～4月16日(火曜日)
の平日

【配布場所】 県教育委員会事務局 教職員課(県庁旧館2階)

(3) 受験申込みの受付

ア 受験申込みの手続き

原則、電子申請(佐賀県電子申請サービス)でのみ受け付けます。

- ※ 特別な事情により、電子申請ができない場合は、教職員課へお問い合わせください。
- ※ スポーツ・芸術特別選考は、必要書類を郵送又は教職員課へ直接持参してください。

[問い合わせ・受付場所]

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
県教育委員会事務局教職員課(県庁旧館2階)
電話0952-25-7212

イ 受付期間

令和6年4月10日(水曜日)～4月30日(火曜日)午後5時まで
※ スポーツ・芸術特別選考は、4月16日(火曜日)午後5時まで
(郵送の場合は、締切日当日の消印有効)

3 今回(令和7年度選考試験)の主な変更点(【 】は対象となる試験区分)

1 3年生チャレンジ受験を行います

大学3年次からの受験を可能とし、教員を目指す学生にチャレンジの機会を増やします。各試験区分における大学3年生の受験者で、令和7年度に卒業し、受験に必要な免許状を取得する見込みがある者を対象とします。

詳しくは、佐賀県公立学校教員採用選考試験3年生チャレンジ受験実施要項でご確認ください。

2 大学・大学院推薦の試験枠を拡大します

【小学校教諭等及び中学校教諭等の一部教科】で実施している大学・大学院推薦の推薦枠を広げ、全国から広く多様な人材を受け入れます。書類選考で合格となった者は、一般選考における第一次試験を免除します。

3 試験免除の要件を拡大します

【小学校教諭等】において、令和6年4月1日から令和6年4月30日の期間内に、本県の公立小学校で教職員(常勤講師)として臨時的に任用され、佐賀県で5年以上の講師経験があり、かつ学校長から推薦された者の第一次試験を免除します。

また、【高等学校教諭等、特別支援学校教諭等及び養護教諭等】において、都道府県・政令指定都市の公立学校の正規教員として3年以上の勤務経験を有する者は、一般教職教養を免除します。

詳しくは、令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験実施要項でご確認ください。

令和6年度佐賀県立高等学校・中学校入学者数

1 県立高等学校課程別入学者数

(人)

課 程	項 目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較
全日制	募集定員	5,800	5,840	-40
	入学者数	5,451	5,514	-63
定時制	募集定員	280	280	0
	入学者数	56	39	17

2 県立中学校入学者数

(人)

項 目	令和6年度	令和5年度
募 集 定 員	480	480
入 学 者 数	480	480

※ 募集定員の変更

学 校 名	学 科 名	令和6年度 募集定員	令和5年度 募集定員
佐賀東高等学校	普通科 (スポーツ科40名程度を含む)	220	240
白石高等学校	普通科	120	120
	商業科	35	40
	情報ビジネス科	35	40
伊万里実業高等学校	生物科学科	40	40
	森林環境課	30	40
	フードビジネス科	40	40
	商業科	40	40
	情報処理科	40	40

令和6年度佐賀県立高等学校・中学校入学者数

(1) 全日制課程

(人)

番号	高等学校名	学科名	募集定員		入学者数	
			学科別	学校別	学科別	学校別
1	鳥 栖	普通科	240	240	240	240
2	三養基	普通科	200	200	196	196
3	神 埼	普通科	120	120	120	120
4	佐賀東	普通科 スポーツ科	220	220	193	193
5	佐賀西	普通科	280	280	280	280
6	佐賀北	普通科	240	280	240	276
		芸術科	40		36	
7	致遠館	普通科	120	240	120	240
		理数科	120		120	
8	小 城	普通科	200	200	200	200
9	唐津東	普通科	240	240	240	240
10	唐津西	普通科 地域探究進学コース 学際探究進学コース	160	160	160	160
11	厳 木	普通科（総合評価枠）	40	80	38	78
		普通科（重点評価枠）	40		40	
12	伊万里	普通科	200	200	141	141
13	武 雄	普通科	240	240	240	240
14	白 石	普通科	120	190	106	171
		商業科	35		65	
		情報ビジネス科	35			
15	鹿 島	普通科 文理探求進学コース 未来探求進学コース	160	240	136	216
		商業科	40		40	
		食品調理科	40		40	
16	太 良	普通科（総合評価枠）	40	80	21	59
		普通科（重点評価枠）	40		38	
17	牛 津	生活経営科	40	120	32	103
		服飾デザイン科	40		31	
		食品調理科	40		40	
18	高志館	食品流通科	40	120	34	93
		園芸科学科	40		31	
		環境緑地科	40		28	
19	唐津南	生産技術科	40	120	40	120
		食品流通科	40		40	
		生活教養科	40		40	
20	伊万里実業	生物科学科	40	190	40	171
		森林環境科	30		20	
		フードビジネス科	40		40	
		商業科	40		35	
		情報処理科	40		36	
21	佐賀農業	農業科学科	40	120	40	120
		食品科学科	40		40	
		環境工学科	40		40	

番号	高等学校名	学科名	募集定員		入学者数	
			学科別	学校別	学科別	学校別
22	鳥栖工業	機械科	80	280	80	222
		電子機械科	80		51	
		電気科	40		22	
		建築科	40		32	
		土木科	40		37	
23	佐賀工業	機械科	40	240	40	240
		機械システム科	40		40	
		電気科	40		40	
		電子科	40		40	
		情報システム科	40		40	
		建築科	40		40	
24	唐津工業	機械科	40	160	40	144
		電気科	40		36	
		建築科	40		39	
		土木科	40		29	
25	有田工業	機械科	40	160	39	150
		電気科	40		40	
		セラミック科	40		31	
		デザイン科	40		40	
26	嬉野	機械科	40	160	30	141
		電気科、建築科	40		40	
		総合学科	80		71	
27	鳥栖商業	商業科	80	160	120	160
		流通経済科	40		40	
		情報管理科	40		40	
28	佐賀商業	商業科	160	240	200	240
		グローバルビジネス科	40		40	
		情報処理科	40		40	
29	唐津商業	商業科	120	160	160	160
		会計科	40		40	
30	神埼清明	総合学科	160	160	160	160
31	多久	総合学科	120	120	120	120
32	唐津青翔	総合学科	80	80	57	57
合 計			5,800	5,800	5,451	5,451

(2) 定時制課程

(人)

番号	高等学校名	学科名	募集定員		入学者数	
			学科別	学校別	学科別	学校別
1	鳥栖工業	普通科	40	80	7	10
		機械科、電気科	40		3	
2	佐賀工業	機械科、電気科	40	40	6	6
3	有田工業	セラミック科、デザイン科	40	40	14	14
4	佐賀商業	総合文化科	40	40	14	14
5	唐津商業	商業科	40	40	10	10
6	伊万里実業	商業科	40	40	2	2
合 計			280	280	56	56

(3) 県立中学校

(人)

番号	中学校名	募集定員	入学者数
1	香楠	120	120
2	致遠館	120	120
3	唐津東	120	120
4	武雄青陵	120	120
合 計		480	480

令和7年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施日程

1 特別選抜（全日制）

- 出願期間 令和7年1月28日（火）～令和7年1月29日（水）
- 学力検査等 令和7年2月4日（火）
- 合格者発表 令和7年2月10日（月）

2 一般選抜（全日制及び定時制）

- 出願期間 令和7年2月17日（月）～令和7年2月18日（火）
- 志願変更願 令和7年2月21日（金）～令和7年2月25日（火）
- 志願変更届 令和7年2月26日（水）
- 学力検査等 令和7年3月4日（火）～令和7年3月5日（水）
- 追検査等 令和7年3月10日（月）
- 合格者発表 令和7年3月12日（水）

3 佐賀北高等学校通信制

- 前期出願期間 令和7年2月28日（金）～令和7年3月13日（木）
- 出願の特例 令和7年3月21日（金）まで
- 前期合格者発表 令和7年3月25日（火）
- 後期出願期間 令和7年8月20日（水）～令和7年8月27日（水）
- 後期合格者発表 令和7年9月9日（火）

※ 県教育委員会が再募集を行うことが必要であると認めたときは、以下の日程で実施します。

- 出願期間 令和7年3月13日（木）～令和7年3月14日（金）
- 面接等 令和7年3月18日（火）
- 合格者発表 令和7年3月19日（水）

令和7年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜実施日程（案）

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 出願期間 | (1) インターネット登録
令和6年11月22日（金）～12月2日（月）
(2) 調査書等提出
令和6年12月3日（火）～12月5日（木） |
| 2 | 適性検査等 | 令和7年1月18日（土） |
| 3 | 追検査等 | 令和7年1月25日（土） |
| 4 | 合格者発表 | 令和7年1月29日（水） |

(参考 令和6年度佐賀県立中学校入学者選抜日程)

- | | | |
|---|---------|-----------------------|
| 1 | 出願期間 | 令和5年12月5日（火）～12月7日（木） |
| 2 | 適性検査等 | 令和6年1月13日（土） |
| 3 | 追検査等 | 令和6年1月20日（土） |
| 4 | 合格者の発表 | 令和6年1月24日（水） |
| 5 | 入学予定者確定 | 令和6年2月2日（金） |

令和7年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜インターネット出願

【目的】

志願者及び保護者が主体となって行う出願手続きの利便性を高めるため。

【メリット】

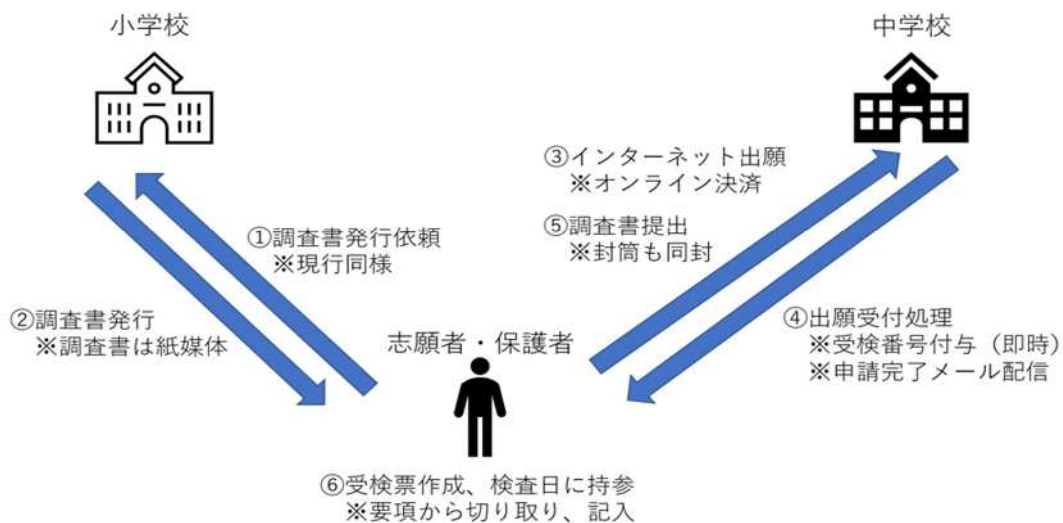
- 1 曜日や時間帯に関係なく、出願や入学者選抜手数料の納付ができる。
- 2 これまで保護者負担としていた普通為替の手数料、受検票等の郵送料、写真代など、約1,500円が削減できる。
- 3 願書受付業務や関係書類の郵送業務等が大幅に削減され、副次的にも県立中学校における入学者選抜業務の効率化につながる。
- 4 教育DXの推進に寄与する。県内私学のすべてがインターネット出願を導入している。私学との競合による受検者の確保の面からも整備が必要。

県立中学校入学者選抜 現状とインターネット出願のコスト比較

手続き	現行	インターネット出願
①願書、調査書等郵送料	・願書、調査書、受検票送付用封筒、 合否通知用封筒、普通為替を郵送 郵送料470円	・願書はインターネット出願 0円 ・調査書、合否通知用封筒は郵送 郵送料470円
②受検票送付用郵送料	郵送料476円 受検者が封筒に切手貼付	実施要項から切り取り、記入 0円
③合否通知用郵送料	郵送料444円 受検者が封筒に切手貼付	郵送料444円 受検者が封筒に切手貼付 ※現行同様
④入学者選抜手数料等	入学者選抜手数料2,100円(普通為替) 普通為替にかえる際の手数料550円 受検者が郵便局で普通為替購入	入学者選抜手数料2,100円 インターネット決済手数料81円(3.85%) 県費負担(県立高校導入時は検討)
⑤写真代	写真代500円～1,000円程度	スマホ等で撮影、添付 0円

【出願手順】

県立中学校入学者選抜インターネット出願



令和5年度全国高等学校選抜大会等上位入賞者について

令和6年4月定例教育委員会
事務局報告事項 保健体育課

	順位	種別	氏名	所属・学年	備考
令和5年度全国高校選抜大会（柔道：選手権大会）（ラグビーフットボール：全校高校大会）					
①新体操	優勝	男子団体	神埼清明高校		4連覇
②レスリング	優勝	男子学校対抗戦	鳥栖工業高校		3大会ぶり 2度目
	優勝	男子65kg級	まつばらたくろう 松原 拓郎	鳥栖工3年	
	2位	男子65kg級	まえだ たいせい 前田 太晟	鳥栖工3年	
	2位	男子92kg級	よしだ ゆうや 吉田 悠耶	鳥栖工2年	
	3位	男子55kg級	ふくとみまさひろ 福富 将大	鳥栖工3年	
	3位	男子71kg級	いとう かいり 伊藤 海里	鳥栖工3年	
	3位	男子80kg級	しらかわ やまと 白川 大虎	鳥栖工3年	
③スポーツクライミング	優勝	男子学校別	多久高校		初優勝
	3位	男子個人	かよたに りつ 通谷 律	多久高3年	
④ボクシング	優勝	女子フライ級	おおた あむ 太田 彩睦	高志館3年	
⑤ウエイトリフティング	優勝	女子49kg級	まつお かんな 松尾 環那	佐賀清和3年	
⑥柔道	3位	女子団体	佐賀商業高校		
	優勝	女子無差別級	いのうえ ともか 井上 朋香	佐賀商3年	
	2位	女子63kg級	しみず ゆうり 清水 優陸	佐賀商3年	
	3位	男子73kg級	みやなが けいご 宮永 啓吾	佐賀商3年	
⑦なぎなた	3位	女子団体試合	牛津高校		
	優勝	女子個人試合	おおたに まお 大谷 舞桜	牛津高3年	
⑧少林寺拳法	3位	女子団体演武	武雄高校		
	優勝	男子個人自由単独演武	はら しんたろう 原 紳太朗	武雄高2年	
⑨剣道	2位	男子団体	龍谷高校		
⑩ラグビーフットボール	3位	男子	佐賀工業高校		
⑪ライフル射撃	2位	10mエアリアル立射 女子60発	のだ ともか 野田 朋花	佐賀学園3年	

	順位	種別	氏名	所属・学年	備考
国際大会					
⑫韓国・金泉全国水泳大会	優勝	男子100m平泳ぎ	のなか たつき 野中 龍生	ようどう館大和校 (金泉中3年)	
	優勝	男子200m平泳ぎ			
	優勝	混合メドレーリレー			
	優勝	メドレーリレー			
⑬BMX FLAT ARK 2023	2位	エキスパート (男子中級クラス)	ふじい とは 藤井 斗芭	諸富中3年	
⑬BMX CHIMERA A-SIDE 熊本城	優勝	OPEN LOW (年齢性別制限なし)	ふじい とは 藤井 斗芭	諸富中3年	
	2位	OPEN LOW (年齢性別制限なし)	たいら やすまさ 平 安正	城西中3年	
⑭2024カヌースプリント日本代表選手 選考会(兼)第34回府中湖レガッタ	優勝	U-16女子カヤック シングル1000m	いりしま はるあ 入嶋 遥愛	神埼高2年	
	2位	U-16女子カヤック シングル1000m	もとishi ほのか 元石 暖華	神埼高2年	
	優勝	U-16女子カナディアン シングル1000m	まえだ ななみ 前田 七海	神埼高2年	
	2位	U-15女子カヤック シングル1000m	はなおか 花岡 ゆらら	神埼高1年	
全国大会					
⑫第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会	優勝	男子100m平泳ぎ	のなか たつき 野中 龍生	ようどう館大和校 (金泉中3年)	
	優勝	男子200m平泳ぎ			
⑮第41回全日本ジュニア新体操 選手権大会	優勝	男子団体	神埼ジュニア新体操クラブ		
	3位	男子団体	佐賀ジュニア新体操クラブ		
⑰第18回ソフトテニス ジュニアジャパンカップ	優勝	U-17男子ダブルス	ふじい ともし 藤井 智暉	嬉野高3年	
	3位	U-17女子ダブルス	いしい くるみ 石井 胡桃	嬉野高2年	
	3位	U-14女子シングルス	はた りんな 波多 凛七	桜S. T. C (小城中3年)	
⑱第2回全日本女子ジュニアボクシング 選手権大会	3位	ピン級	じんのう 愛り 陣内 愛莉	白石高3年	
	3位	フライ級	おわた あむ 太田 彩睦	高志館3年	
⑲第8回少年少女選抜テコンドー 選手権大会	優勝	ジュニア男子55kg級	おかもと かい 岡本 佳依	佐賀県テコンドー協会 松原支部(佐工高1年)	
	優勝	カデット女子41kg級	おかもと ちか 岡本 千佳	佐賀県テコンドー協会 松原支部(城西中2年)	
	2位	ジュニア男子63kg級	えぐち りょう 江口 諒	佐賀県テコンドー協会 本部道場(柳川高2年)	
	2位	ジュニア女子59kg級	やまだ なぎさ 山田 渚紗	佐賀県テコンドー協会 本部道場(柳川高2年)	
	2位	ジュニア男子51kg級	えぐち ひろと 江口 大翔	佐賀県テコンドー協会 本部道場(川副中3年)	
	3位	カデット男子33kg級	ながはら 蒼大 永原 蒼大	佐賀県テコンドー協会 日新支部(城西中1年)	
	3位	カデット女子44kg級	かわしますずは 川島 涼羽	佐賀県テコンドー協会 鹿島支部(東部中1年)	
⑳第23回全日本チアダンス選手権大会	2位	Senior編成Open部門	たけとみ ひまき 武富 日咲	CherryBlossom (小城中3年)	
㉑㉒第38回若鷲旗剣道大会	優勝	女子団体	大和中学校		
	3位	女子団体	みやき中学校(中原中・北茂安中)		
㉑第35回全国選抜中学生剣道大会	優勝	女子団体	大和中学校		
㉑㉒令和5年度魁星旗大会	2位	男子団体	龍谷高校		
	3位	女子団体	龍谷高校		
㉒23回全日本短剣道大会	3位	男子団体・高校生の部	佐賀農業高校		
	2位	男子個人・高校生の部	こが そうすけ 古賀 奏丞	佐農高3年	
	3位	男子個人・高校生の部	ふちかみ せい太 淵上 誠太	佐農高2年	